令和4年度　出石中学校区　アプローチ＆スタートカリキュラム

★　テーマ「自立した生徒」★

系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導

出石中学校区小中一貫教育推進委員会

	取　組　項　目	小学校6年生							中学校1年生					備考
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
授業づくりと学級づくりの一体化	合同研修会	授業交流（学習）→	合同研修会 授業研究（人権）→				活動の総括 人権部会						合同研修会（カウンセリング研修会）	・人権課題に対する共通理解を図るとともに、授業力の向上を目指し授業研究を行う。 ・小中の教職員が同じ目線で児童理解ができるようにＳＣを活用し、カウンセリングマインド研修を実施する。 ・人権部会で共通教材の検討と授業研究を行う。 ・学習部会で１人１回他校へ授業を見に行く。
	中1授業参観										中１ 授業参観 情報交換会			・入学後の中１生徒の様子を小学校６年時の担任等が参観し、具体的な指導に役立てるため、情報交換会を開催する。
	小小連携・合同授業	小小連携授業→					活動の総括			６年生修学旅行（弘道、福住、寺坂、小坂、小野）	５年生自然学校【全体で実施】			・子どもの関係作りをめざし、ブロックを小グループにわけ、各学年ごとに実施する。 （小野・小坂、寺坂・福住）　【小学校６年生「修学旅行」（５月）】 ・小学校５年生「自然学校」（６月）は、出石中学校区５校全体で実施。
引継連携システムの強化	オープンスクール		OS				OS							・異校種の子どもの情報収集と子ども理解のため、２・３学期に１回程度OSを開催。 小・中学校の教諭や校長等が相互に訪問し、参観する。
	中学校1日体験入学			ようこそ後輩（小⇒中）			ようこそ先輩（中⇒小）							・小学校６年生が中学校での学習や生活を体験することで中学校への不安の軽減を図る。 中学校で１日過ごし、中学校教師による授業、生徒会の説明等合わせて行う。 ・中学校入学２ヶ月前の２月に、中学２年生が出身の小学校を訪問し、小学生からの中学校への不安、疑問等についての質問に回答し、不安軽減を図る取組を行う。
	小中ネットワーク会議		ネットワーク会議											・小・中学校からの資料をもとに、SCと小・中の教員による児童・生徒についての情報交換を行う。
	小中引継会						小中引継会	小中引継会						・小・中連絡シートをもとにした小中引き継ぎ会。 １年の総括と次年度の計画を立てる。 （スクールカウンセラーも参加する）
	小学校訪問			小学校訪問 授業参観										・ネットワーク会議で情報が得られた児童を中心に、中学校の教諭が各小学校を訪問し授業を見学し、観察をする。
	実態把握(アンケート等実施)			児童アンケート実施							生徒アンケート実施			・中学校への期待、不安等について児童アンケート調査を実施する。中学生は、その不安が中学校に入学後どう変わったか生徒アンケート調査し分析を行う。
	SCによる児童・生徒観察	観察→	観察	ネットワーク会議					観察→	観察	中１ 授業参観 情報交換会			・ＳＣに児童・生徒の観察をしてもらい、児童・生徒の状況について理解を図る。
家庭・地域との連携	入学説明会					入学説明会								・保護者に中学校での学習指導、生活指導について説明し、理解を図る。
	学習部会						「家庭学習のすすめ」（見直し）				「家庭学習のすすめ」発行			・１学期末懇談会で配布。
	生活部会	NOメディア運動		NOメディア運動 睡眠アンケート		NOメディア運動	NOメディア運動 睡眠アンケート			NOメディア運動	NOメディア運動 睡眠アンケート			・睡眠アンケートを実施し、睡眠の大切さを家庭に呼びかける。（６月、２月）比較検証を行う。 ・各学期の中学校のテスト期間中に１日、その他で１日、校区全体でNOメディア運動を展開する。
	青少年健全育成事業			推進大会							総会		ラジオ体操	・家庭学習、携帯・スマホ・ゲーム機利用の約束について周知し、取組の徹底を図る。
児童生徒アンケート	授業に対する不安		始業前着席→							部活動の早めの終了				・「課題はやりきる」ことを小学校段階でも意識して取り組む。 ・中学校はノーチャイムで５分前行動、３分前着席を実施しているが、小学校のほとんどはチャイムで動いているのが実状である。また、始業前着席は徹底できていない。そのため、入学半年前から始業前着席に取り組む。 ・話を聴きながら書く、書きながら聴くということが小学生には難しい。それらのことに慣れるため、授業の中でその場面を設定したり、ゲストティーチャーの話を聴く際は大切なことをメモしながら聴いたりする活動を取り入れる。また、中学校では生活ノートを毎日つけることになるため、２月に１週間お試しを行う。 ・中学校では、部活動に無理のないように徐々に慣らしていったり、事情がある場合は弾力的に取り扱う。 ・自主学習ノート『れんま』（１日半ページ）については、１学期は実施せず２学期からスタートする。
	生活リズムへの不安						生活ノート記入（１週間）			部活動土日の一方を休養日→				
	課題に対する不安		話を聴く際、メモをとる→											